

進む食糧・エネルギー危機、地球温暖化 「省エネ」実践のススメ

6回

ブレイクスルー研究会

独立型ミニ太陽光発電システム

停電、防災品に「一家に一台」

図1はこの記事執筆者の我が家の独立型発電システムです。負荷設備は別で約5万円です。ソーラーパネルやバッテリーは中古品を利用して環境に優しいシステムです。皆さんもどうぞでしょうか。100V負荷として玄関灯、トイレ、洗面所、食卓用に使用しています。

蛍光灯よりは高価ですがLEDランプにすれば省エネ効果が可能性は更に拡がります。充電コントローラーからは直流12Vも利用でき、小型ファンや工作にも役立ち、日本でも全国に地球温暖化防止に広めたいシステムです。

器具は効率の良い電球形蛍光灯で食卓以外は人感センサー付きです。

ブレイクスルー研究会
<http://www2.ucda.ne.jp/~s-syslab/sub2.htm>
 代表：末広繁和（連絡先：Tel 0268-24-6253）
 企画：新田詔三（記事執筆者、エネルギー管理士）

太陽光発電システムには系統連系システムと独立型システムの2種類があります。系統連系システムは屋根の上によく見えます。太陽光発電した余剰電力を電力会社と電力の売買ができるシステムです。独立型システムは電力会社の系統と完全に分離したシステムで、太陽光で発電した電気だけで運転し夜間に運転する場合には、蓄電池に電気を貯める必要があるシステムで、世界的には独立型システムの方が多いです。キャンプや釣り、ガーデニングと持ち運びが簡単なソーラーシステムがあると便利です。万が一停電のときにも心強く、防災用の電源としても、一家に一台は置きたく、人気をあつめています。

図1

我が家の独立型ミニ太陽光発電

